

令和6年4月開校 併設型中高一貫教育校

ちどうかん

山形県立致道館中学校・高等学校[※]

保護者等説明会資料

※令和5年6月議会に、山形県県立学校設置条例の改正案を上程予定

イメージ図 左：致道館中学校 コモンホール
右：致道館高等学校 オープンゼミ室

基本理念

自主自立

自ら考え、判断し、主体的に行動するとともに、志高く自分自身の可能性を伸ばしていくことによって、自己実現を図る

新しい価値の創造

確かな学力を身に付けるとともに、豊かな人間性を育むことによって、新しい文化・価値観・考え方等をつくり出す

社会的使命の遂行

時代の変化や社会の状況に応じて求められる役割を自覚し、自他を尊重し、協力し合い、社会の平和と発展に貢献する

育てる
生徒像

自主性と自立心をもつ生徒

確かな学力と豊かな人間性を身に付け、新しい価値を創造する生徒

社会的使命を自覚するとともに、その実現に向けて取り組む生徒

目指す
学校像

一人ひとりが、主体性やたくましさを身に付け、夢や希望を実現できる学校

個人としての基盤をつくり、社会変化に応じて積極的に新しい物事に取り組む学校

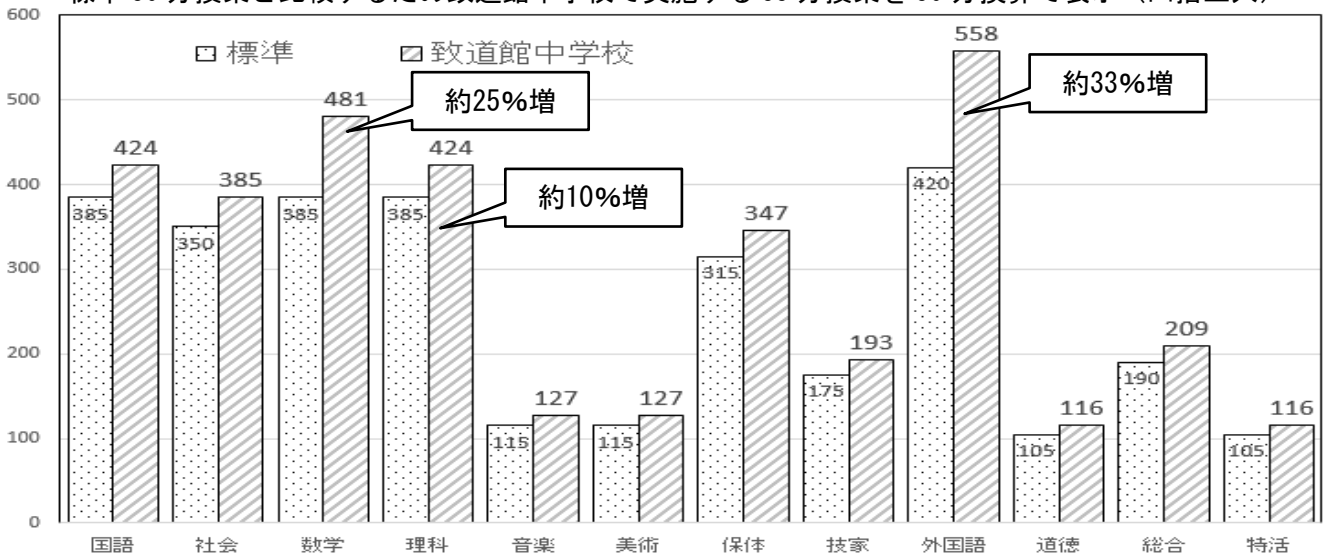
地域社会や国際社会を牽引する人、支える人を育てる学校

教育課程

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	大学進学等
基礎期			充実期		発展期	
【55分×週30時間授業】 中高一貫教育に係る教育課程の特例を生かした高校の学習内容を一部盛り込んだ先取り学習等の実施			【55分×週32時間授業】 個性の伸長に応じて多様になる生徒の希望や進路目標に対応するため、単位制を導入			
○個に応じた支援 ・ICTの活用等による個別最適化した学習 ○生徒・教員の交流の促進 ・中高合同の学校行事や生徒会活動			・少人数授業（高校） ・中高双方の教員による交流授業			

致道館中学校 3年間の授業時数（標準との比較）

・標準 50分授業と比較するため致道館中学校で実施する55分授業を50分換算で表示（四捨五入）



部活動（予定）

	致道館中学校	致道館高校
運動部活動	○バスケット（男） ○バスケット（女） ○卓球 ○バドミントン ○サッカー ○陸上競技	鶴岡南高校・鶴岡北高校に設置している部活動は継続して活動する予定。
文化部活動	○探究（サイエンス、グローバル等） ○合唱	【現在活動している部活動】

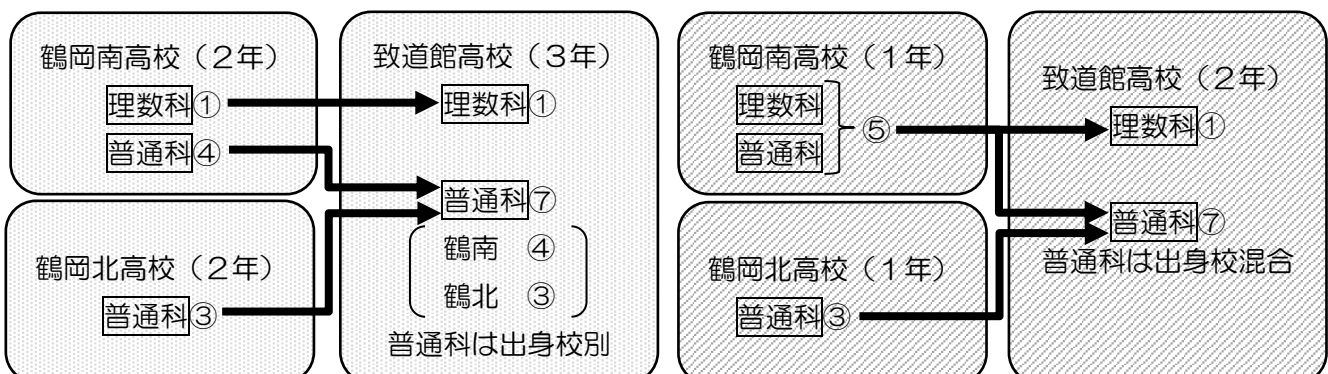
	鶴岡南高校・鶴岡北高校 共通	鶴岡南高校のみ	鶴岡北高校のみ
運動部活動	○陸上競技 ○ソフトテニス ○バレー（女） ○バスケット（女） ○卓球 ○バドミントン ○弓道 ○アーチェリー ○テニス	○野球 ○水泳 ○サッカー（男） ○バレー（男） ○バスケット（男） ○柔道 ○剣道	○山岳 ○ソフトボール ○サッカー（女）
文化部活動	○音楽 ○美術 ○報道（新聞） ○英語	○吹奏楽 ○科学 ○応援団・チア ○JRC ○文芸	○書道 ○茶道 ○華道

致道館高校 開校時の学級編制

○：学級数

令和4年度入学生

令和5年度入学生



令和6年度入学者選抜等に関する情報

○致道館中学校 入学定員 99名

事務説明会（令和5年5月頃）
小学校教員を対象に、調査書の作成等について説明します。

学校説明会（令和5年7月頃）
6年児童・保護者を対象に、学校生活について説明します。

入学者選抜説明会（令和5年9月頃）
6年児童・保護者を対象に、入学者選抜実施要項（願書）を配布し、手続き等について説明します。

進路等相談（令和5年10月頃）
6年児童・保護者を対象に、健康や身体状況により検査等で配慮が必要な場合に相談を受け付けます。

志願者の能力や適性等を総合的に判定し選抜する。選抜の資料については、小学校等における学習等の諸活動の記録（調査書）並びに山形県教育委員会が実施する適性検査、作文及び面接の結果を用いる。

$$A = \begin{matrix} \text{第5学年} \\ \text{各教科の評定合計} \\ \text{(最高27点)} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{第6学年} \\ \text{各教科の評定合計} \\ \text{(最高27点)} \end{matrix}$$

$$B = \begin{matrix} \text{適性検査} \\ \text{配点} \\ \text{(100点)} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{作文} \\ \text{配点} \\ \text{(35点)} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{面接} \\ \text{配点} \\ \text{(15点)} \end{matrix}$$

→ AとBを同じ比率で扱う。

調査書中の各教科の評定以外の記録にも留意する。

出願期間
令和5年11月27日(月)～12月1日(金)

適性検査等実施日
令和6年1月6日(土)
適性検査(55分)、作文(40分)、面接(集団15分程度)

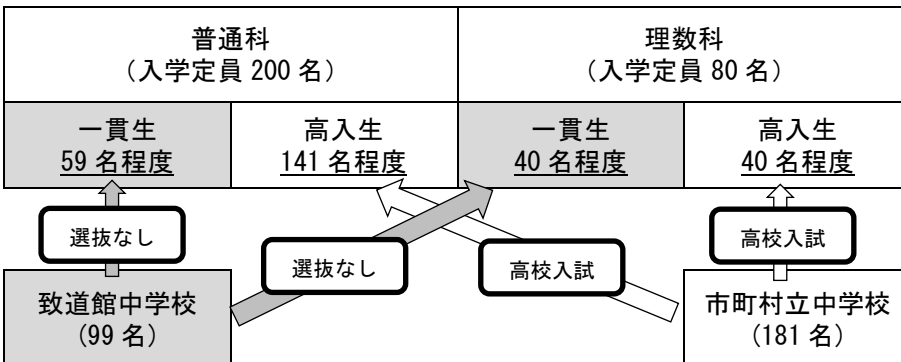
選抜結果通知書の発送
令和6年1月12日(金)

選抜資料	観 点
適性検査	課題を理解し、根拠に基づいて論理的に考え、適切に判断する能力、課題に対する自分の考えを表現する能力など、小学校の教育課程に基づく学習によって身につけた総合的な力をみます。
作 文	与えられたテーマについて、自分の考えや思いなどを適切にまとめ、文章で表現する力をみます。
面 接	志願の動機や主体的に学習に取り組む態度などを総合的にみます。
調 査 書	小学校における学習等の諸活動の記録をみます。

○致道館高等学校 入学定員※ 普通科 200名、理数科 80名

項 目	基本的な方針
一般入学者選抜での募集形態	学科ごとの募集とする
一般入学者選抜での併願の可否	理数科を第1志望とする者は、普通科を第2志望として出願できる
一般入学者選抜での調査書の評定と学力検査の成績の比率	調査書の評定：学力検査の成績＝3：7とする
学力検査での傾斜配点	実施しない
理数科での推薦入学者選抜	実施しない

※令和9年度以降の予定



一貫生：致道館中学校からの進学者
高入生：市町村立中学校等からの進学者

制服・運動着

○致道館中学校と致道館高校の制服・運動着は、同じデザインです。進学時に買い替える必要はありません。ただし、ネクタイ・リボンは中高で色が異なります。

○制服の上衣は、Ⅰ型、Ⅱ型（ウエストを絞ったタイプ）の2種類、下衣はA型（スラックス）、B型（女子体型スラックス）、C型（スカート）の3種類があり、組み合わせは自由です。

○ネクタイ・リボンは、選択することができます。

【制服】着用例



I型+A型

II型+B型

II型+C型



ネクタイ



リボン

【運動着】



中学校（6時間）		高校（6～7時間）	
朝の会	8:25 ~	8:30	SHR
1校時	8:35 ~	9:30	1校時
2校時	9:40 ~	10:35	2校時
3校時	10:45 ~	11:40	3校時
4校時	11:50 ~	12:45	4校時
給食・休憩	12:45 ~	13:35	休憩
5校時	13:35 ~	14:30	5校時
6校時	14:40 ~	15:35	6校時
清掃	15:35~15:50	15:45~16:40	7校時
終わりの会	15:55~16:10	(15:35~15:50)	(清掃)

高校の7時間授業日は清掃なし

よくあるお問い合わせ

Q1 中学校、高校どちらも通学区域は県下一円となっておりますが、通学方法に条件や制限はありますか。

A1 通学方法に条件や制限はありません。ご家庭で、お子様の体力、通学に要する時間などを考え、6年間通学可能かをご検討ください。なお、スクールバスの運行や寮の設置は予定していません。

Q2 中学校では給食はありますか。給食費はいくらになりますか。

A2 中学校では、外部委託による給食を実施します。給食費は、周辺中学校と同額程度を見込んでいます。

Q3 開校準備の最新情報は、どこに掲載していますか。

A3 山形県ホームページや致道館中学校・高等学校の特設サイトをご覧ください。（特設サイト <https://sites.google.com/yamagataps.jp/shounai-ikkankou>）

特設サイト



致道館中学校・高校

検索 🔍

問い合わせ 山形県教育庁高校教育課高校改革推進室 TEL 023-630-2493